011063_腰椎麻酔･右大腿頚部骨折人工骨頭置換術

ステップ名称	ステップ1		ステップ2	ステップ3		ステップ4	ステップ5	ステップ6	ステップ7
	1日前	基準日			1日後	2日後～4日後	5日後～6日後	7日後～14日後	15日後～21日後
		術前	術中	術後					
到達目標	手術に対する心身の準備ができる		合併症なく退室できる	合併症なく経過する		創痛コントロールができる	介助で車いすに移乗ができる	車いすでの生活が安全に送れる	回復期リハビリ病棟への転棟ができる
						脱臼予防肢位が保てる	創痛がコントロールできる		
							脱臼予防肢位が保てる		
処置	弾性ストッキングのサイズを測ります	手術前に弾性ストッキングを着用します	手術室で点滴やおしっこの管などが入ります	酸素マスク、心電図モニターなどをつけます	心電図モニターをはずします	2日後におしっこの管を抜きます	6日後に傷の消毒をします	8日後、13日後に傷の消毒をします	21日後に急性期病棟から退院・転院または転棟します
	リハビリテーション科の診察があります	手術室へはベッドで行きます		呼吸が安定すれば酸素マスクをはずします	傷の消毒をします			13日後に抜糸をします	
	14時ごろに浣腸をします			心電図モニターをつけます	手術部位の管を抜きます				
				空気圧マッサージ機をつけます					
検査			手術中にレントゲンを撮ります	血液検査があります	血液検査があります			7日後にレントゲンをとります	
								7日後、14日後に血液検査があります	
体温・呼吸・循環	入院時に体温、脈拍などをはかります	手術室へ行く前に体温などをはかります		適宜体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります	適宜体温、脈拍などをはかります
	入院時に身長、体重を測ります								
注射			手術室で点滴があります	持続点滴中です 抗菌薬の点滴を行ないます	終了後点滴を抜きます 抗菌薬の点滴を行ないます				
投薬	持参薬があればお知らせください	指示薬があれば午前6時に少量の水で指示薬を服用します			朝から鎮痛剤を6日間服用します				
	抗血栓薬以外の内服薬は21時までに服用します								
清潔・排泄	シャワー又は全身清拭、洗髪、手浴、足浴 爪切りをします	手術開始30分前に排尿を済ませます			身体を拭きます 陰部を洗います	2日後～4日後陰部を洗います	5日後に創部がフィルム剤になればシャワー浴ができます	7日後、9日後、12日後にシャワー又は身体を拭きます	退院後、入浴できます
	排便を確認します					2日後おしっこの管を抜いた後に自尿の確認をします			
食事	夕食後から絶食です お茶・お水は飲めます	朝から絶食です 朝7時以降水分は取れません		帰室6時間後に指示で飲水ができます	朝から食事が始まります				退院後、制限はありません
活動・安静度	ベッド上で安静にします			ベッド上で安静にします(外転位保持) 外転枕を使用します	ベッドアップ90度まで可能です	外転枕します	外転枕します	外転枕します	退院後、脱臼肢位をとらないよう動作に注意します
					手術部位の管が抜ければ、車いすで移動ができます			術後14日以降ご自身で体位交換が可能になります	
教育・指導・説明・リハビリ	主治医から手術について説明があります		家族の方は手術待合室でお待ちください	家族の方に手術結果について説明があります	外転枕をします	2日後に理学療法士・作業療法士から脱臼肢位について説明があります		12日後に理学療法士・作業療法士からリハビリ計画書について説明があります	
	薬剤師から薬について説明があります			脱臼肢位の説明をします				14日後抜糸後外転枕をはずします	
	看護師から手術について説明があります			外転枕使用による看護師介助の体位交換について説明があります					
	術後の脱臼予防について説明があります								
	特別な栄養管理の必要性（有）								
書類	入院診療計画書を渡します								
	手術同意書　麻酔同意書　輸血同意書を看護師詰所に提出してください								
手術									